

研究会報告

1 令和元年度 小学校家庭科夏季実技研修会実施報告

- (1) 期 日 令和元年7月25日(木)
- (2) 会 場 松山市立雄郡小学校 家庭科室
- (3) 日 程

9:00~10:00 受付
10:00~10:10 開会挨拶
10:10~11:40 研修
11:40~11:50 意見交換
11:50~12:00 閉会挨拶



(4) 研修内容

「汚れが落ちる仕組みと汚れに応じた洗濯の仕方」

◎講師：愛媛菅公学生服株式会社 西村 真由 氏

ア 洗剤の基本機能

(7) 界面活性剤の働き

界面活性剤の4つの働き「浸透作用」「乳化作用」「分散作用」「再付着防止作用」について実験を交えて説明していただいた。



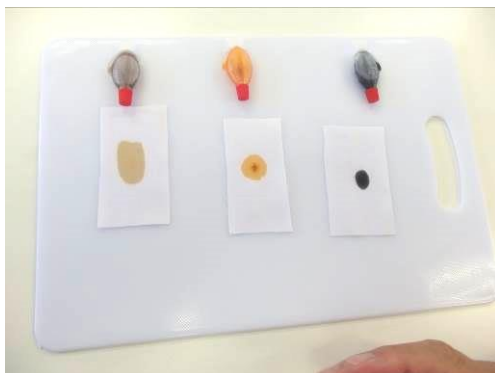
(イ) 日常の汚れを種類別に落として、汚れの落ち方の違いを見る実験

実験1… 汚れを水溶性・油性・不溶性の3種類に分類し、それぞれの汚れを落とす実験を行った。

実験2… 時間の経った汚れの落ち具合の比較実験を行った。

実験3… 機能性の高い生地を使っての実験を行った。

実験4… 油性ボールペンと油性ペンの汚れは、塗布放置洗浄(衣料用洗剤)・塗布放置洗浄(台所用洗剤)・ご飯粒洗剤・シミぬき洗剤・ハクリ液の中で一番落ちるのはどれかという比較実験を行った。





イ 洗濯表示の見方

「新しい洗濯表示」の見方について説明していただいた。

ウ 洗剤と洗濯コースの選び方

しわを防ぐと見た目が変わること、おしゃれ着洗剤&コースで失敗を防げること、制服のテカりは着用1か月で約70%の方に発生すること、中性洗剤で洗濯することでテカりが軽減することを教えていただいた。

エ 洗濯の準備

分け洗い・前処理・洗濯ネットについて説明していただいた。

オ 洗濯&干し方

洗剤の量・制服の洗い方・干し方について教えていただいた。

(5) 感想

- ・ 知らなかったことや実際に実験してみてよく分かったことがたくさんあった。
- ・ 洗濯の概念を知ることができて、大変勉強になった。何となく洗濯実習をしていたので、きちんと教材研究をしなければならぬと改めて思った。
- ・ たくさんの実験があって、洗濯についてよく分かった。洗濯について私自身があまり興味をもてなかったのだが、もう少し見直してみようと思うきっかけになった。
- ・ 洗濯の授業を行う際、課題がたくさんある。今回のことを生かしてやってみたい。
- ・ 現在の洗濯の仕方や洗剤の使い方について知ることができた。汚れの種類別に細かく実験をしたことで、汚れが落ちるものと落ちないものの違いがよく分かった。
- ・ 生活に生かせる内容であった。小学生にはやや高度な内容だったが、中学生には自分の制服の取り扱いにつながってよいと思った。
- ・ 塗布放置の実験に感動した。授業だけでなく、家庭でも役立つ情報が盛りだくさんで大変勉強になった。
- ・ 生活に結び付いた内容で、専門的な部分も知ることができてよかった。
- ・ 実験を授業に取り入れて行うことができれば、児童が興味・関心をもって取り組めると思う。
- ・ 衣食住の衣の分野である洗濯に関する研修は初めてであったので、興味深く参加できた。プロの先生からの実験を交えた講話で楽しく受講できた。